

当園ではこの度、令和5年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価及び関係者評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

- 一人ひとりの幼児を大切にし、心の豊かさ・明るさ・秩序責任、土と風と太陽に親しみ、より丈夫な身体を育成し21世紀の社会に貢献し得る人格の基礎づくりを指導しています。
- ☐ 協同と自主自立の精神を養う
- ☐ 豊かな情操と感覚を養う
- ☐ 創造性と思考力を養う
- ☐ 健康で明るく、心の豊かさを養う

II. 今年度の重点目標

- 教職員の育成

●子ども達への指導とかかわり

●教員同士の情報共有

●防災訓練の質の向上

●安全管理体制の強化

●地域の未就園児親子を対象とした育児支援の充実

III. 評価項目と取組み状況

評価項目		具体的確認項目	取組み状況	
1	教職員の育成	研修などから得た知識を互いに共有し、実践に取り入れて園全体としての保育スキルの向上を目指す。	B	・個々で研修へ参加し、分からない点は積極的に質問することで自身のスキル向上に繋げることができた。 ・研修にて学んだことを保育に活かすことができている。
2	子ども達への指導とかかわり	子どもたち一人ひとりの成長に合わせて、教職員全員が柔軟に対応し声掛けに取組んだり、遊びを充実させる等の工夫をしていく。	A	・ミーティングなどでクラスの課題や子供たちとの関わり方を共有し、また他者の事例を自分事として捉えることができた。 ・職員全員が園児に対して積極的に声掛けを行っていた。 ・子どもの状況に合わせた環境を整えた上で、全員での遊びを取り入れるなど工夫ができた。
3	教員同士の情報共有	教職員同士で意見交換の場を確保するように園全体で努め、教職員間の意思疎通を円滑なものにし情報を共有していく。	B	・ミーティングでは積極的に自らの意見を述べられている。 ・行事前は特に念入りなミーティングを行うように心がけている。 ・自身の意見を述べるだけでなく、他者の発言やその想いを尊重し合えるように心がけた。

評価項目		取組み内容	取組み状況	
4	防災訓練・質の向上	子どもたちの防災意識を高めるため、災害発生に備えた準備や防災に対する知識の習得や子どもたちへの指導方法、また避難方法を再度園内で見直していく。	A	・定期的に防災訓練を行えている。（毎月実施） ・年齢にもよるが、子ども達の理解を補助することで、防災の意識が定着してきている。
5	安全管理体制の強化	遊具使用時は教職員が必ず付き添うこととし、園内の点検箇所とルールを定めて園全体で安全管理に努める。	A	・屋外での遊びの際は必ず職員が付き添い、遊びの最中だけでなく前後の安全管理が徹底できている。 ・室内は座って行う遊びを中心とし、けがを無くすよう意識した。 ・遊具使用時は必ず職員が見守り、声掛けをすることで大きな事故を防ぐことができている。
6	地域の未就園児親子を対象とした育児支援の充実	より多くの方々に来園いただけるような取り組みを実施し、園の魅力を地域へ継続発信していく。	B	・園庭開放を実施した。 ・送迎の際、園バスに園児募集ポスターを掲示するなど、工夫をした。 ・近隣の店舗に園児募集ポスターを貼ってもらうなど地域との連携も取れている。

【評価の基準】

S	十分達成されている
A	達成されている
B	取組まれているが、成果が十分でない
C	取り組みが不十分である

Ⅳ．今後取り組むべき課題

1	教職員の育成	・研修で得た知識を個々だけのモノではなく園全体の知識とするように共有をする。 ・研修へ個々で取り組んでいる姿が多く、質問をしづらい雰囲気の時もあった。 もっと一体感を持たせられる研修を実施する。
2	子ども達への指導とかわり	・ミーティングの開催頻度が時期によりまばらなので、なるべく毎日開催する必要がある。 ・子どもに提供する遊びの種類が定型化している。改善の為に、保育士同士で遊びの内容も共有し、様々なアイデアを取り入れるようにする。
3	教員同士の情報共有	・ミーティングでの情報共有だけでなく、日頃のコミュニケーションをもっと密に取ることで情報伝達をスムーズに行うよう心がける。 ・細かな変更点などの共有が人任せとなり、伝達しきれていない時がある。 些細なことでもしっかり自分が見聞きしたものは他者への共有を心がける。
4	防災訓練・質の向上	・訓練によって避難経路や方法の知識はついたものの、「訓練」といった意識が強いことで必死に取り組めていない場面が見受けられる為、改善が必要である。 ・口頭だけでなくより実戦に近づけた訓練の頻度を増やす必要がある。
5	安全管理体制の強化	・点検箇所は毎度定められているわけではないので、指定をすることで職員の安全意識を向上させる。 ・遊具なども定期的に点検を入れるようにする。
6	地域の未就園児親子を対象とした育児支援の充実	・夏祭り等の地域との関わりの際は、より多くの人に参加してもらえるように工夫が必要である。 ・ご兄弟以外の入園を促すために、園の良いところを認知してもらう機会を増やす。そのために自園の強みを宣伝する施策を行う。

Ⅴ．学校関係者の評価

研修だけでなく定期的なミーティングにおける情報共有によって、職員のスキル及び保育の質の向上に取り組まれていると見受けられる。 また、園内の活動にとどまらず、様々な取り組みを通して地域との交流を図ることで、地域を巻き込んだ保育に取り組まれている点が高く評価できる。 一方で、個における共有が至らない場面もあるようなので、各職員が自身の仕事に責任を持ち、他の職員にとって有益となりえる情報は密に連携する施策を取り入れ、更なる質の向上に努めていただきたい。（具体的には、日頃の声掛けや情報共有も評価項目に組み込むなどである。） 外部環境として、新型コロナウイルスの影響がかなり小さくなっており、社会全体の流れとして「人の繋がり」に主軸を置いた活動も取り組みやすくなっている。研修や行事、イベントなど外部に向けた活動を活発化させることで地域に限らずより幅広い交流を視野に入れて施策を考えていきたい。
--

以上